

◆ 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果 《中学校・国語科》 ◆

■ 調査結果の概要

A問題(主として「知識」に関する問題)の結果																					
○全体	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市76.7)(全国79.4) 																				
○評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 「話す・聞く能力」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.96で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市69.3)(全国72.3) 「書く能力」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市80.7)(全国83.4) 「読む能力」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.96で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市79.8)(全国82.9) 「言語についての知識・理解・技能」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市76.1)(全国78.7) 																				
○内容・領域	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.96で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市69.3)(全国72.3) 「書くこと」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市80.7)(全国83.4) 「読むこと」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.96で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市79.8)(全国82.9) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.97で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市76.1)(全国78.7) 																				
○グラフ	<table border="1"> <caption>グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>話す・聞く(観点)</td> <td>0.96</td> </tr> <tr> <td>書く(観点)</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>読む(観点)</td> <td>0.96</td> </tr> <tr> <td>言語(観点)</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>話す・聞く(内容)</td> <td>0.96</td> </tr> <tr> <td>書く(内容)</td> <td>0.97</td> </tr> <tr> <td>読む(内容)</td> <td>0.96</td> </tr> <tr> <td>言語(内容)</td> <td>0.97</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	国語A	0.97	話す・聞く(観点)	0.96	書く(観点)	0.97	読む(観点)	0.96	言語(観点)	0.97	話す・聞く(内容)	0.96	書く(内容)	0.97	読む(内容)	0.96	言語(内容)	0.97
項目	割合																				
国語A	0.97																				
話す・聞く(観点)	0.96																				
書く(観点)	0.97																				
読む(観点)	0.96																				
言語(観点)	0.97																				
話す・聞く(内容)	0.96																				
書く(内容)	0.97																				
読む(内容)	0.96																				
言語(内容)	0.97																				

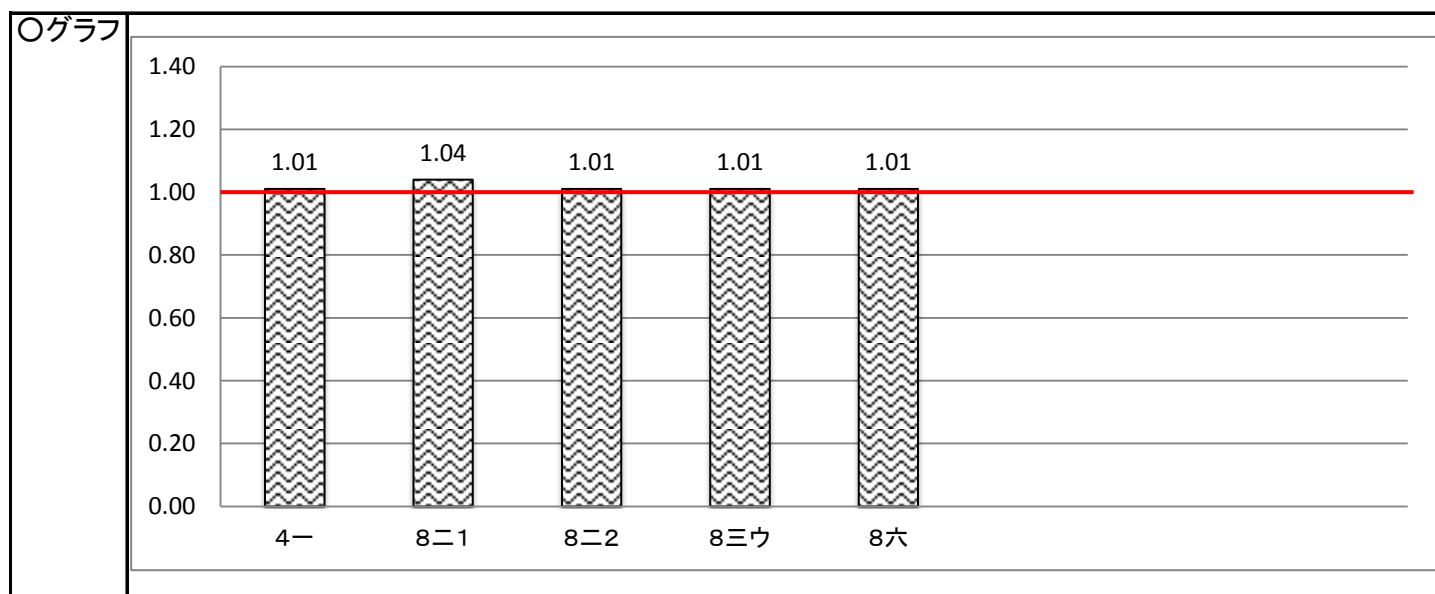
※ 国語科においては、評価の観点と内容・領域が重なる特性上、評価の観点と内容・領域は同じ数値になります。

B問題(主として「活用」に関する問題)の結果																	
○全体	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.94で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市47.9)(全国51.0) 																
○評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 「国語への関心・意欲・態度」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.90で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市36.9)(全国41.0) 「書く能力」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.90で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市36.9)(全国41.0) 「読む能力」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.93で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市45.9)(全国49.2) 「言語についての知識・理解・技能」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.93で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市53.1)(全国56.8) 																
○内容・領域	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.90で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市36.9)(全国41.0) 「読むこと」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.93で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市45.9)(全国49.2) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均正答率に対する佐賀市平均正答率の割合は、0.93で、全国平均正答率を下回っている。(佐賀市53.1)(全国56.8) 																
○グラフ	<table border="1"> <caption>グラフのデータ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語B</td> <td>0.94</td> </tr> <tr> <td>書くこと(観点)</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>読むこと(観点)</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>言語(観点)</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>書くこと(内容)</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>読むこと(内容)</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>言語(内容)</td> <td>0.93</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	国語B	0.94	書くこと(観点)	0.90	読むこと(観点)	0.93	言語(観点)	0.93	書くこと(内容)	0.90	読むこと(内容)	0.93	言語(内容)	0.93
項目	割合																
国語B	0.94																
書くこと(観点)	0.90																
読むこと(観点)	0.93																
言語(観点)	0.93																
書くこと(内容)	0.90																
読むこと(内容)	0.93																
言語(内容)	0.93																

※ 国語科においては、評価の観点と内容・領域が重なる特性上、評価の観点と内容・領域は同じ数値になります。

■調査結果の分析【成果（強み）】

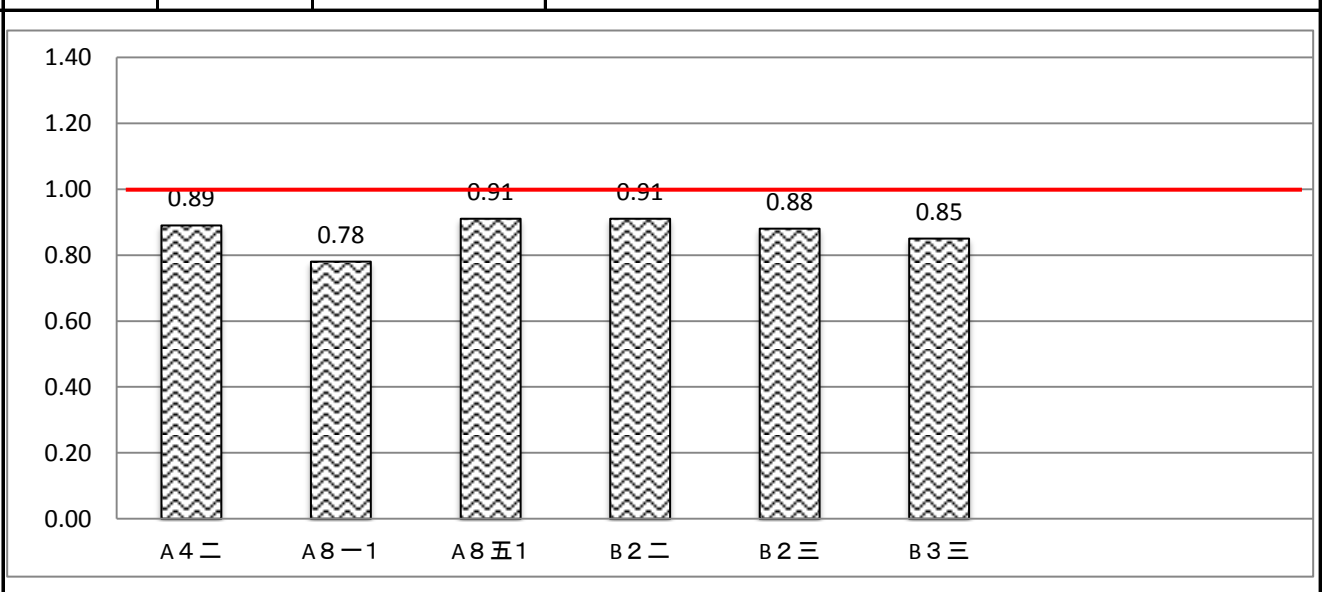
問題番号	領域	観点	出題のねらい	分 析
A 4ー	書く	書く	集めた材料を分類するなどして整理する。	ウェブページの項目として、適切なものを選択する問題については理解できている。
A 8二(1) 8二(2)	言語	言語	文脈に即して漢字を正しく読む。	文脈に即して漢字を正しく読むことはできている。
A 8三(ウ)	言語	言語	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	語句の意味を理解し、適切な語句を選択する問題については理解できている。
A 8六	言語	言語	文字の大きさ、配列などに注意して書く。	文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する問題については、理解できている。



■調査結果の分析【課題(弱み)】

問題番号	領域	観点	出題のねらい	分 析
A 4二	書く	書く	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える。	主語を置き換えて行事の記録を書き直す問題については、理解できていない。 指導にあたっては、同じ事柄であっても主語を変えることにより内容の伝わり方が変わることなどを実際に文章を書くことで実感させることが効果的である。
A 8一(1)	言語	言語	文脈に即して、漢字を正しく書く。	文脈に即して正しく漢字を書く問題については理解できていない。漢字を書くことの指導においては、漢字の字形や画数、読みや意味などの基本的な事項を確実に指導する必要がある。
A 8五(1)	言語	言語	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題については、理解できていない。 文語の決まりについては、音読や朗読をしたり、音声を聞いたりすることを通して理解するように指導することが大切である。
B 2二	読む	読む	複数の資料から必要な情報を読み取る。	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する問題については、理解できていない。 目的に応じて文章の要旨を的確に捉えるためには、文章の特徴を踏まえて内容を正確に理解する必要がある。
B 2三	書く 読む	関心・意欲・態度 書く 読む	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く。	水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く問題については理解できておらず、無解答率も高い。 指導にあたっては、説明的な文章を読んで、さらに調べたい内容を明確にした上で、さまざまな資料から必要な情報を的確に得る学習活動が有効である。
B 3三	書く 読む 言語	関心・意欲・態度 書く 読む 言語	落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く。	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを本文を根拠に殿様の気持ちを想像して書く問題については、理解できておらず、無解答率も高い。 文学的な文章を読む際には、登場人物の心情を豊かに想像することが、文章全体の面白さや雰囲気を楽しむことにつながる。そのためには、場面ごとに登場人物の心情を独立して捉えるだけでなく、文章の展開に即して変化していく心情を捉えることが重要である。

○グラフ



■調査結果の分析【指導改善について】

○ 書く習慣を身に付ける指導の工夫

意識調査によると「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思いますか」の設問に対して、5割近くの生徒が「そう思う」と感じている。また、「学校の授業などで自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しいと思いますか」の設問に対して4割程度の生徒が「そう思う」と答えている。また、書くことの設問は無解答率が高い。このことから、佐賀市の中学生は文章を書くことに抵抗を感じていることが分かる。そこで、普段の授業においても、書く習慣が身に付くような工夫が必要であると思われる。

伝えたい事柄を整理して分かりやすく書く力を身に付けるために、目的や相手に応じて、取り上げる内容、それらを示す順番などを考え、よりよい文章にするように指導することが大切である。その際、取り上げる内容は適切か、それらの内容を用いて書いた文章が、伝えたい事柄を正確に伝えるものになっているかなどの観点で、文章を読み直すことが重要である。授業の中でも、「字数を制限して書く」「キーワードを設定して書く」など条件付けて書くような取り組みを講じる必要がある。書く機会を増やし、書くことへの苦手意識をなくしていくことも求められる。

本や文章を読んで考えたことを具体的に書く力を身に付けるために、本や文章のどの部分に特に興味や関心をもったのかを明確に示した上で、なぜそこに着目したのか、その内容について自分はどうのように考えるのかなどを丁寧に書くように指導することが大切である。例えば、引用した箇所と自分の考えとの関連、根拠として取り上げた内容の妥当性など、書いた文章を複数の観点から見直すことは重要である。その際、自分の考えに照らして、根拠として取り上げた引用や要約の量は適切か否かも考えることが大切である。

○ 生活時間の使い方と内容の改善

- ・生活習慣が整っている生徒は成績が高い傾向にある。佐賀市では「毎日同じ時刻に起きている」と回答した生徒の割合が全国に比べて5ポイント高い。
- ・スマートフォンやゲームの利用時間が長いと成績が低い傾向にある。特にB問題で顕著に差が出る傾向にある。佐賀市では「4時間以上スマートフォンやゲームを使用する」と回答した生徒の割合が全国に比べて約5ポイント低い。家で宿題をしている生徒は成績が高い傾向にある。佐賀市では「家で学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が全国に比べると7ポイント高い。

○ クロス集計の分析

- ・国語の学習に関する意識が高い生徒は、成績が高い傾向にある。佐賀市の生徒は書くことに対する苦手意識を持っている。「話し合う活動をよく行っていた」と感じている生徒は、成績が高い傾向にある。佐賀市では「話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国に比べて約10ポイント高い。今後も積極的に学習過程に取り入れていくと共に、活動の質的高まりを求めていきたい。
- ・読書が好きな生徒は、成績が高い傾向にある。佐賀市では「読書が好きである」と回答した生徒の割合が全国に比べて約4ポイント高い。今後も読書の時間の確保と良書推薦図書を紹介などを行うことが大切である。

■評価の観点については、以下のように表記しています。 ■内容・領域については、以下のように表記しています。

評価の観点	表記
話す・聞く能力	話す・聞く
書く能力	書く
読む能力	読む
言語についての知識・理解・技能	言語

内容・領域	表記
話すこと・聞くこと	話す・聞く
書くこと	書く
読むこと	読む
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語